

栄四郎瓦株式会社

栄四郎瓦

検索



☐ 本 社
 447-8512 愛知県碧南市白沢町1-38
 Tel: 0566-48-5115 / Fax: 0566-48-2416

☐ 関東営業所
 321-3233 栃木県宇都宮市上籬谷町3097-3
 Tel: 028-612-5823 / Fax: 028-612-5824

☐ 九州営業所
 849-0101 佐賀県三養基郡みやき町原古賀5529
 Tel: 0942-94-4460 / Fax: 0942-94-4383

[栄四郎瓦]のご用命は



瓦の風景はつづく。 今までも、これからも

日本で瓦が造られるようになったのは6世紀の後半、飛鳥時代。以降、各時代の宗教や政治権力と強く結びついて寺院や城郭などに用いられました。一般家屋に普及したのは江戸時代後半以降。度々起きる大火事の対策として、また軽量化された棧瓦(さんがわら)が発明されたことで全国に広まりました。しかし近年、他の屋根材の出現により瓦の出荷は減少しています。瓦は過去の建材なのでしょうか？いいえ、瓦は今も進化しています。防災性を始め、機能

を格段に高めた製品づくり。それを最新の実験データに基づいた適切な“ガイドライン工法”と組み合わせることで耐震・耐風性も飛躍的に向上させ、大地震や台風にも耐える屋根材であることが証明されています。古来から続く和風スタイルにとどまらず、欧風やモダンなデザイン瓦など様々な瓦が街を彩っています。今までも、そしてこれからも日本人にとっての原風景として、心の拠り所となる存在として、瓦の普及に努めていきたいと私たちは考えています。

栄四郎瓦について

1801年の創業以来、国内外にシェアを拡大。現在では銀いぶし瓦製造で全国トップを獲得、寺社仏閣など多数の歴史建造物にも採用されています。1991年からブランド名を「栄四郎瓦」、2017年には社名を「栄四郎瓦株式会社」に改称。国内最古の瓦メーカーとして、全国的にも名高い三州瓦を、原土づくりから製造・販売まで一貫してお届けし続けています。



8つの安心で あなたの屋根を支えます

防災性

防水性

断熱性

耐寒性

耐火性

耐久性

防音性

経済性

1.防災性

瓦同士で支え合う構造
×
耐震基準を満たすガイドライン工法

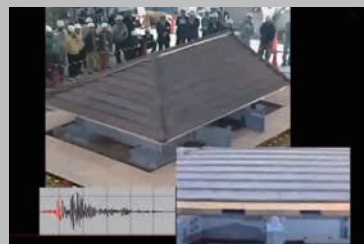


写真はブラウドブレイン

写真は和形53A [側面]

防災瓦 瓦同士で支えて固定。
地震や台風にも安心です。

全ての瓦を1枚ずつ屋根に固定し、さらに瓦同士をしっかりと噛み合わせる構造の防災瓦。加えて、最新の実験データに基づいた「ガイドライン工法」による施工で、優れた耐震性・耐風性を実現しています。



「寄棟」形状の屋根での実験の様子。瓦の脱落、ズレ、浮き上がり等は一切確認されませんでした。(2004年10月実施)



実物大の伝統的木造軸組構法住宅の耐震性能検証実験でも施工した屋根瓦に損傷はありませんでした。(2008年11月実施)

地震対策に基づいたガイドライン工法。

瓦の屋根は地震に弱いというイメージを持たれている方が多いようです。しかし、現行のガイドライン工法で正しく施工された建築物であれば、たとえ阪神・淡路大震災や東日本大震災クラスの揺れでも安全であることが、専門機関による耐震テストで確認されています。建築基準法では、重い屋根でも軽い屋根でも、それぞれの重さに応じて設計されるので、完成した家の耐震性は同程度。むしろ重い屋根を支えるための柱や筋交い、壁などが地震の揺れに対して、より安全と言えるかもしれません。

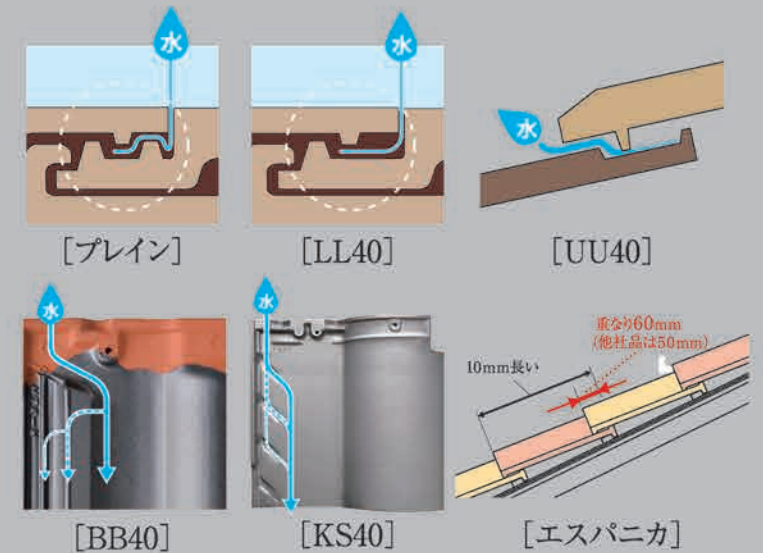
優れた耐漏水性で屋根を守ります。

年間降水量が多い日本では、どのように屋根に降る雨を排水するか、また屋根内部への漏水を防ぐかが屋根材にとってのポイント。栄四郎瓦では、効率よく排水するためのガイドや水返しなどをデザインに取り入れ、高い防水性能を実現しています。

！ 栄四郎瓦の緩勾配対応について

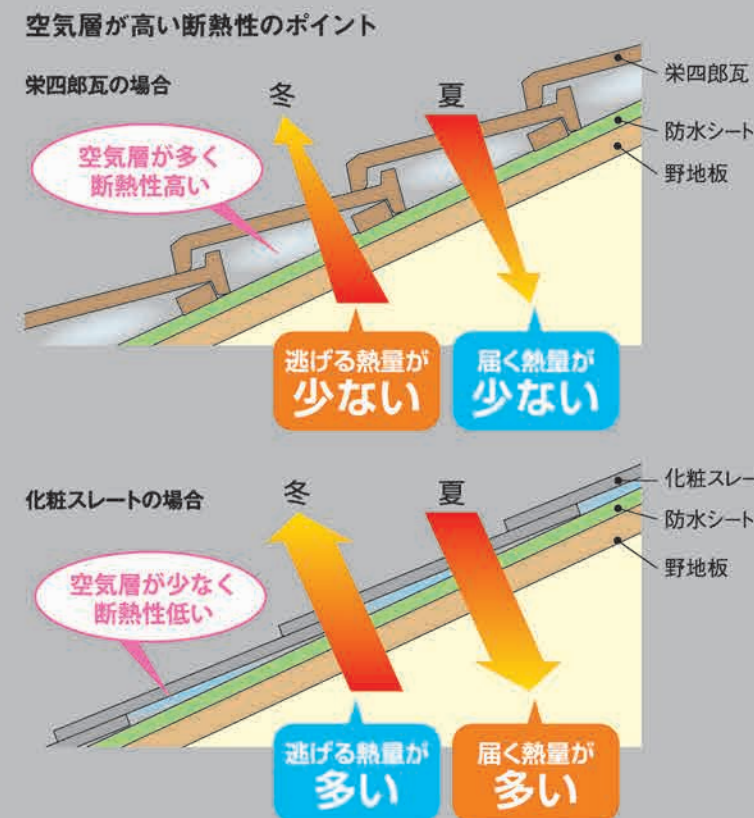
他社の粘土瓦製品には緩勾配対応を謳っているものがありますが、栄四郎瓦もそれらに負けない防水性能を持っていますが、当社では緩勾配対応という表記を控えています。どんなに緩勾配対応と称された瓦製品でも、それだけで雨水の侵入を完全に防ぐことはできないと考えるからです。適切な下葺材を使い、野地部分の漏水対策を強化することで、2.5寸などの緩勾配屋根にも安心してお使いいただけるものと考えます。

2.防水性



3.断熱性

外気温の影響を遮断して、
暑い夏も、寒い冬も快適に。



原料を粘土とする栄四郎瓦は、熱を伝え難い特性を備えています。また、施工のできる瓦と野地板との間の空気層が、さらに断熱効率を高めます。空気層がほとんどない化粧スレートや金属の屋根材に比べ、外気温の影響を遮断し、より快適な生活に役立ちます。

！ 粘土瓦の断熱性能と遮熱性能について

粘土瓦は基材の厚みや空隙により、金属やスレートなどの他の屋根材に比べ、非常に優れた断熱性能を持っています。金属屋根材等では、日射や赤外線を反射する遮熱の数値と、建物内部の温度に相関が現れますが、粘土瓦の場合は、基材の断熱性能が非常に優れ、大きな効果を生み出しているため、遮熱による建物内部への影響は、ごく軽微にしか現れません。また、遮熱性能は色によっても差がありますが、粘土瓦の場合はどの色も優れた断熱性能を持っているため、自由に色を選択することが可能です。

4.耐寒性



寒冷地でも広く採用されています。

冬の間、長期間氷点下の外気にさらされる地域では、屋根材に含まれる水分の凍結を原因とする凍害（損壊やそれに伴う雨漏りなど）の対策が大きな課題となります。それには素材の吸水率が大きく関係していますが、栄四郎瓦の場合、JIS規格（12％以下）を大きく下回る8％以下の吸水率で、凍害の心配はほとんどありません。

2009年秋から行われている屋外暴露試験（北海道旭川市）

5.耐火性

建築基準法指定の安全な※不燃材。

火事の飛び火による類焼を防ぐには、屋根材の耐火性能が重要なポイントです。草葺き・板葺きの屋根が瓦屋根へと移行してきた理由の一つが耐火性です。一度焼いた“焼き物”なので、もしもの火災時にも燃えることはありません。

※建築基準法（昭和25年法律第201号）第2条第九号
（平成12年5月30日 建設省告示第1400号／最終改正：平成16年9月29日 国土交通省告示第1178号）



製造工程（焼成）

6.耐久性

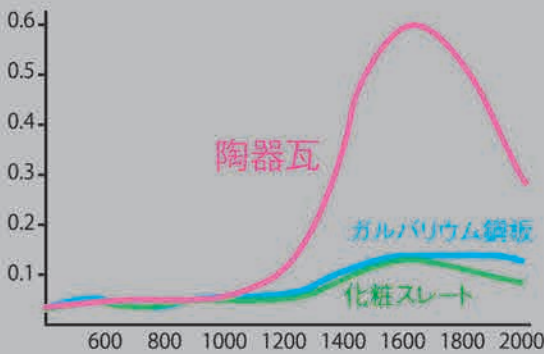
瓦は屋根材の中でも最も耐久性に優れた素材。

屋根には、工事や雪下ろしで人が乗るなど、局部的に大きな荷重のかかる場合があります。栄四郎瓦の場合、JIS規格を充分満たしており、荷重に対する耐圧性も万全のレベルを確保。また、酸性雨や海岸部での塩害などにも強く、他の屋根材に比べ耐薬品性にも優れていることが認められています。

1400年の風雪に耐える古瓦（元興寺（奈良県））



屋根材の違いによる騒音の吸音率



人間の耳で感度の高い1600Hzで瓦は0.58 という高い吸音率を示し、優れた遮音効果が確認されています。

8.経済性

長期的に考えると、とても経済的。

瓦は最初にかかる費用が他の屋根材と比べて高いのは事実です。しかし瓦屋根はメンテナンスコストがかかりません。一方、スレート系や金属系の場合は製品にもよりますが10年くらいから退色や錆が発生し、定期的な塗り替えや葺き替えが必要となります。30～40年住み続けることを考えれば、メンテナンスの手間もなく、丈夫で長持ちする瓦は、決して高い屋根材ではないのです。

7.防音性

静かな空間を提供します。

激しい雨が降った時、バラバラと屋根を激しくたたく雨音が気になったことはありませんか？ 栄四郎瓦は、金属やスレートの屋根に比べて防音性能にも優れた不快な音をほとんど発生させません。



メンテナンス費用の比較イメージ
（屋根面積100㎡として試算）

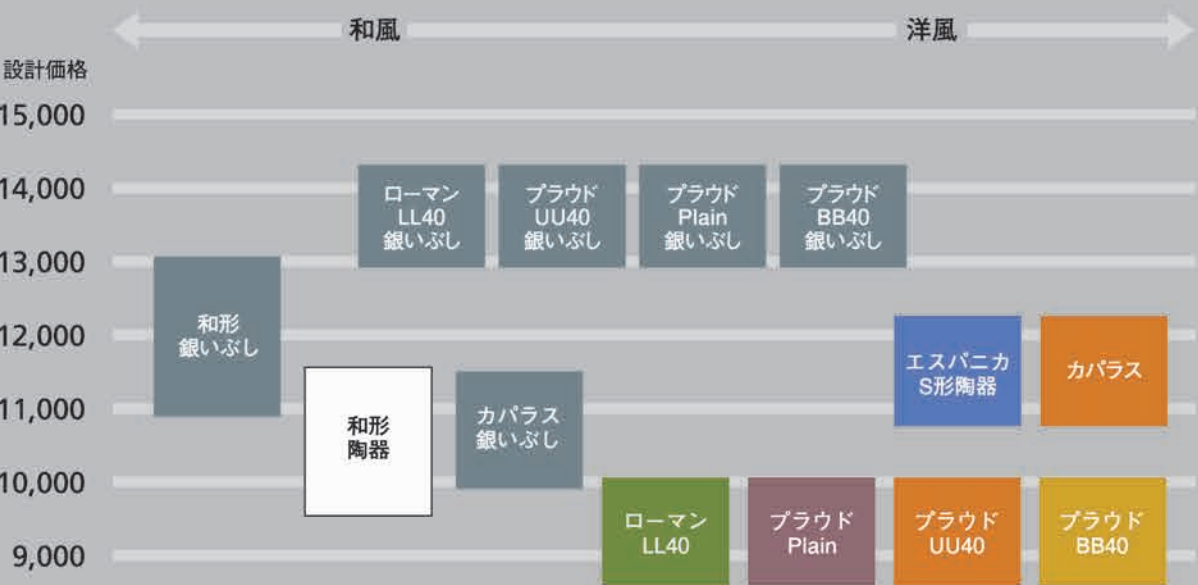
	化粧スレート	栄四郎瓦
初期コスト	約50万円 （約5,000円/㎡として）	約100万円～※ （約10,000円/㎡として）
10年後	約70万円 （表面塗装+足場）	—
20年後	約70万円 （表面塗装+足場）	—
30年後	約120万円 （葺き替え+足場）	—
合計	約310万円 （表面塗装+足場）	約100万円～※

●化粧スレート費用は住宅産業協議会資料をもとに算出
※商品によって異なります。

30年で比較すると…
瓦が、
約210万円も
お得です！

[栄四郎瓦]の外観デザインと価格帯

設計価格は屋根㎡当たりの標準設計価格の目安です。



● 設計価格は屋根1㎡当たりの標準設計価格の目安です。 ● 色によって価格にはばらつきがあります。
● 製品によっては、大きく価格差がある場合がありますので、ご注意ください。

平
板
瓦

プレミアムカラー

ナチュラルカラー

レギュラーカラー

Proud Plain
プラウドプレーン

防災瓦

39枚/坪
働き寸法(長さ×幅)=280×306mm



■ 銀いぶし



■ ノルディックブラック



■ ノルディックブラウン



■ ノルディックグレイ



■ 銀黒



■ マットブラック



■ マットブラウン

Roman LL40 Hyper-Z
ローマン

防災瓦

39枚/坪
働き寸法(長さ×幅)=280×306mm



■ 銀いぶし



■ 銀黒



■ マットブラック



■ マットブラウン



■ マットグリーン

Proud UU40G
プラウド

防災瓦

39枚/坪
働き寸法(長さ×幅)=280×306mm



■ 銀いぶし



■ ライトレッド



■ ライトイエロー



■ ライトチョコ



■ 銀黒



■ マットブラック



■ マットブラウン



■ マットグリーン

Proud BB40 Hyper-X
プラウド

防災瓦

39枚/坪
働き寸法(長さ×幅)=280×306mm



■ 銀いぶし



■ ライトレッド



■ ライトイエロー



■ ライトチョコ



■ 銀黒



■ マットブラック



■ マットグリーン

トラディショナルカラー

ナチュラルカラー

KAPARAS KS40
カパラス

防災瓦

40枚/坪
働き寸法(長さ×幅)=293×270~290mm



■ 銀いぶし



■ ノルディックブラック



■ ノルディックブラウン



■ ランダムホワイト



■ ランダムオーカー



■ ランダムレッド



■ ランダムブラウン

ナチュラルカラー

レギュラーカラー

ESPANICA

防災瓦

49枚/坪
働き寸法(長さ×幅)=262×260mm



■ ベルレッド



■ ベルクレイ



■ ベルアイボリー



■ 素焼



■ クリアマット



■ ベルブラウン



■ ベルアスカ



■ ベルグリーン



■ いぶし銀



■ マットブラウン

カ
パ
ラ
ス
瓦

S
形
瓦

和
形
瓦

和形[銀いぶし瓦]

防災瓦

53A = 53枚/坪
働き寸法(長さ×幅) = 237×265mm
片2寸 = 59枚/坪
働き寸法(長さ×幅) = 212×265mm
両2寸 = 66枚/坪
働き寸法(長さ×幅) = 188×265mm



■ 53A [剖面]



■ 53A [切落面]



■ 片2寸(中深) [切落面]



■ 両2寸 [切落面]

飛鳥野瓦

52枚/坪
働き寸法(長さ×幅) = 237×273mm



■ 段付飛鳥野瓦



■ 段無飛鳥野瓦

本葺瓦

尺×尺1寸 = 目安79枚/坪(働き長さ135mmの場合)
9寸×尺 = 目安99枚/坪(働き長さ120mmの場合)
8寸×9寸 = 目安126枚/坪(働き長さ105mmの場合)



■ 尺×尺1寸



■ 9寸×尺



■ 8寸×9寸

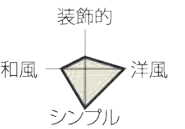
メンテナンス性能を高めたシンプルモダンなフルフラット平板瓦。

Proud Plain

防災瓦

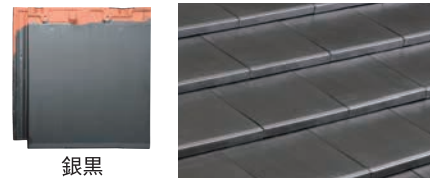
CJK 長期使用対応部材 (CjK部材)

Proud Plain
プラウドプレイン



プラウド プレイン

レギュラーカラー



銀黒

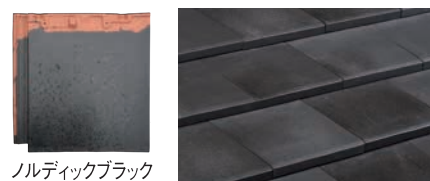


マットブラック



マットブラウン

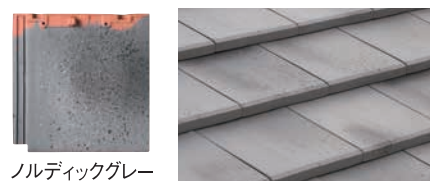
ナチュラルカラー



ノルディックブラック

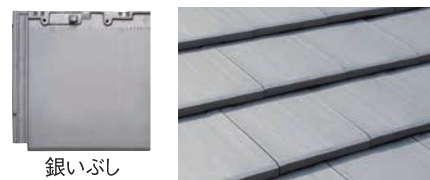


ノルディックブラウン



ノルディックグレー

プレミアムカラー



銀いぶし

一切の装飾を省いてシンプルを追求した“プラウドプレイン”。欧風スタイルの家でも、現代和風の家でも、屋根を美しく演出するミニマル(＝必要最小限)なデザインの平板瓦です。もちろん防災や断熱など、機能面も両立し、落ち着きと重厚感を備えた色彩が豊かな屋根表情を演出します。

レギュラーカラー

すっきりとしたデザインを醸し出すフルフラットの平板瓦は、どんな建物にも似合います。

ナチュラルカラー

北欧をイメージした色合いは、自然な色ムラと石や木のような天然の質感を表現し、高級感が漂う外観を演出します。

プレミアムカラー

ワンランク上の「銀いぶし」は、シャープな表情が洋風、和風のどちらにも合い、センスの良い印象を屋根に与えます。モダンな趣を表現したい方には最適です。



長期使用対応部材 (CjK部材)

長期にわたってメンテナンスを容易にする為に互換性をもたせた部品・部材。瓦の場合、1枚単位で同基準を満たす他社品と差し替えるなどのメンテナンスが容易に行えるようになります。住宅部品・部材の標準(共通)化の推進団体、「長期使用住宅部材標準化推進協議会(長住協)」により定められています。

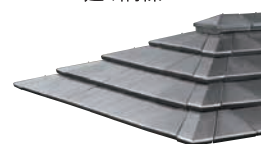


ノルディックブラウン

棟・袖部のデザインバリエーション

隅棟部

廻り隅棟

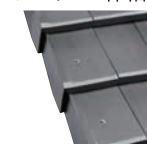


足付三角冠



袖部

プレイン一体袖



ワイド袖



雪止

立地条件、地域性などにより設置条件が異なります。

同質雪止瓦



雪止金具※



※材質 = SUS304
色種 : ステン、ブラック、ブラウン



銀黒



ノルディックブラック



ノルディックグレー

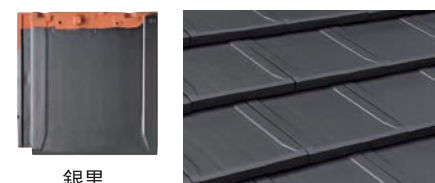
シンプルな形状にシャープなアクセントを盛り込んだ、都会的なデザインの陶器平板瓦。

ROMAN LL40 Hyper-Z 防災瓦

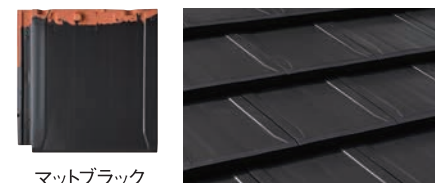
ローマン LL40 ハイパーZ



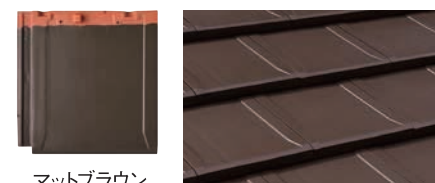
レギュラーカラー



銀黒



マットブラック

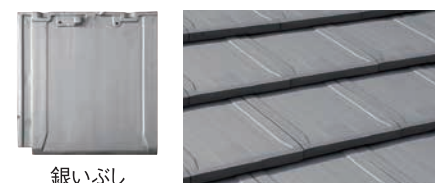


マットブラウン



マットグリーン

プレミアムカラー



銀いぶし

すっきりとした仕上がりの平板瓦に、瓦らしさを加えた特徴あるデザイン。あらゆる建物に柔軟にマッチするレギュラーカラーに加え、現代的に「和」の風合いで個性を演出するプレミアムな銀いぶし色もご用意しています。

レギュラーカラー

シンプルでフラットなデザインは、英国調の雰囲気が漂う。色合いも洋風住宅はもちろん、モダンテイストな和風住宅にもマッチしシャープな仕上がりが屋根に趣を持たせます。

プレミアムカラー

日本古来の伝統技術である「銀いぶし」。厚みのあるフラットなデザインは、威厳を感じさせます。シンプルな形状と、「銀いぶし」の色合いは洋風住宅はもちろん、モダンテイストな和風住宅にも調和します。

屋根にも個性が主張できればと4種類の棟瓦を始め、棟瓦・袖瓦のデザインを豊富に用意しました。シックなマット調の4色に銀いぶしを加え、20通りもの個性から、建物の外観にふさわしい屋根を選べます。豊富な役瓦でお好みの屋根デザインをお選びください。



銀いぶし

同質雪止瓦



雪止金具※



雪止 立地条件、地域性などにより設置条件が異なります。

※材質 = SUS304
色種：ステン・ブラック・ブラウン・グリーン

棟・袖部のデザインバリエーション

隅棟部

隅棟冠

足付三角冠

紐付三角棟

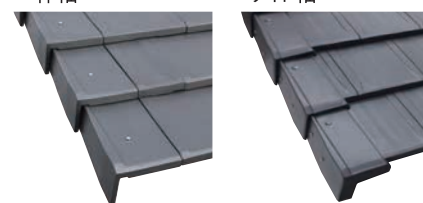
三点廻り隅



袖部

一体袖

ワイド袖



銀黒



マットブラック



マットブラウン



マットグリーン

柔らかな南欧風のフォルムで豊かな屋根デザインを彩る陶器平板瓦。

Proud UU40G

防災瓦



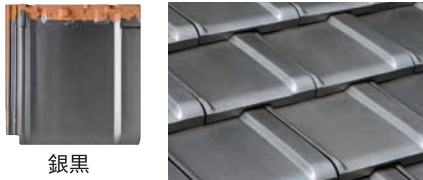
長期使用対応部材 (CjK部材)

Proud UU40G
ブラウド



ブラウド UU40G

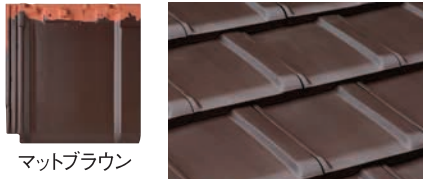
レギュラーカラー



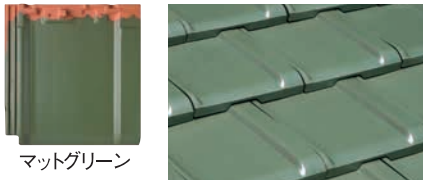
銀黒



マットブラック



マットブラウン

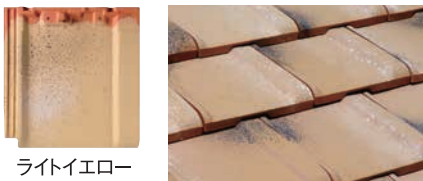


マットグリーン

ナチュラルカラー



ライトレッド



ライトイエロー



ライトチョコ

プレミアムカラー



銀いぶし

防水性の向上にも有効な、両端をU字型に盛り上げた独特のスタイル。一列ごとに瓦をずらして施工する千鳥葺き(ちどりぶぎ)と相まって、平板タイプでありながらも屋根デザインに穏やかなリズムを与えます。カラーも豊富で、機能的な美しさとともに奏でるハーモニーが建築を優雅に彩ります。

レギュラーカラー

ベーシックな形状なので、住宅の外観を選ばないシックな落ち着いた感のある屋根に仕上がります。

ナチュラルカラー

温もりとやさしさをかもし出し、家庭の温かさを感じさせます。街中でも郊外でも、周りの環境に溶けこみ、楽しそうなリズムを奏でます。

プレミアムカラー

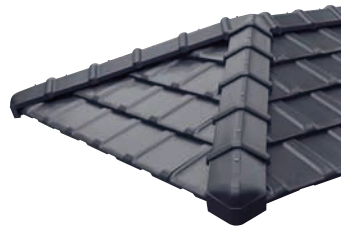
和風から洋風まで建築のデザインを選ばず、洗練した建物の魅力を引き立てます。銀いぶしの光沢を抑えた、落ち着いた色調は建物に高級感を与え、数奇屋建築に通ずる美意識を持った建築には、その真価を発揮することでしょう。



銀黒

棟・袖部のデザインバリエーション

紐付三角棟(大棟・隅棟)



袖部



雪止 立地条件、地域性などにより設置条件が異なります。

同質雪止瓦



雪止金具※



※材質 = SUS430
色種：ブラック・ブラウン・グリーン・オレンジ・イエロー



マットブラック



マットグリーン



ライトイエロー



マットブラウン



ライトレッド



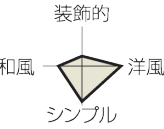
ライトチョコ

光のさざ波が揺らぎ躍る、軽快感あふれる屋根を演出します。

Proud BB40 Hyper-X

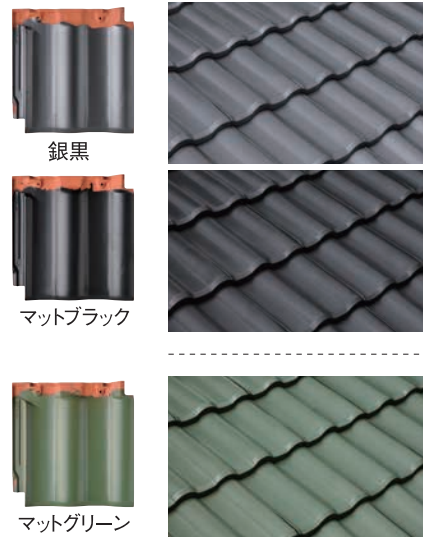
防災瓦

Proud BB40 Hyper-X
プラウド ハイパーエックス



プラウド BB40 ハイパー-X

レギュラーカラー



小割感のあるウェーブの連続するデザインによって、屋根の形状やサイズを問わない“プラウドBB40ハイパー-X”。平板瓦の機能性にウェーブによるボリューム感を合わせ持った製品です。もちろん防災や断熱などの機能面も充実。リズムカルに量感を持ちながらも、平板瓦と同様の施工性と6種類の色揃えにより、個性あふれる豊かな屋根表情を演出します。

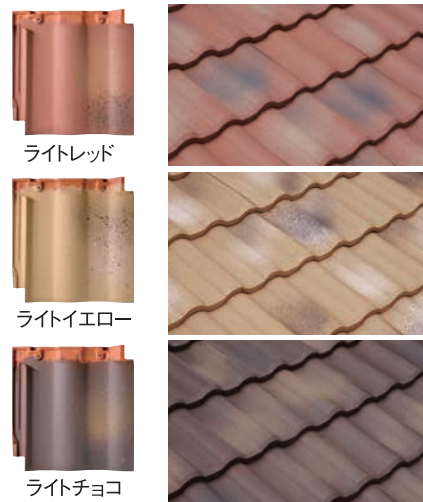
レギュラーカラー

住宅の外観を選ばないシックな落ち着いた感のある屋根に仕上がります。和風でも洋風でも、穏やかな印象が漂います。

ナチュラルカラー

南欧風の温かみのある色調からコロニアルスタイルの実用的な色合いまで揃えており、様々な屋根形状やデザインに適応し、軽快な屋根外観を演出します。地中海の光が舞うような色調は、軽やかなウェーブとマッチして、住むことの楽しさを教えてくれます。

ナチュラルカラー



銀黒

プレミアムカラー



棟・袖部のデザインバリエーション

紐付三角棟(大棟・隅棟)



袖部



雪止 立地条件、地域性などにより設置条件が異なります。

同質雪止瓦



雪止金具※



※材質 = SUS430
色種 = ブラック・ブラウン・グリーン・オレンジ・イエロー



マットブラック



マットグリーン



ライトレッド



ライトイエロー

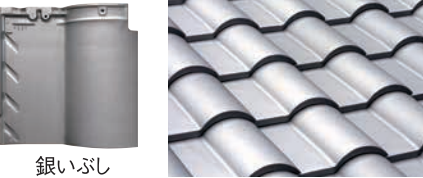


ライトチョコ

KAPARAS KS40 防災瓦

カパラス KS40

トラディショナルカラー



銀いぶし

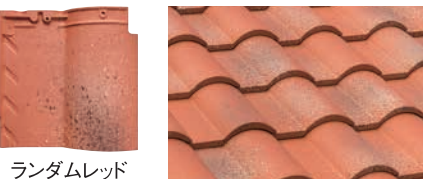
ナチュラルカラー



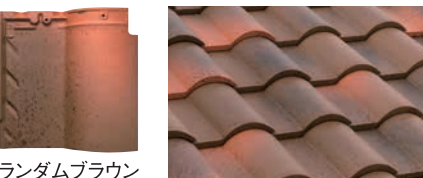
ランダムホワイト



ランダムオーカー



ランダムレッド



ランダムブラウン



ノルディックブラック



ノルディックブラウン

穏やかに丸みを帯び、個性的な美しいフォルムと、防災・断熱などの機能面を両立させたデザイン瓦。本来の欧風イメージにとどまらず、モダンな現代建築を演出するシャープさも兼ね備えています。北欧をイメージしたノルディックカラーも加わり屋根デザインの見え方がさらに広がります。

トラディショナルカラー 南欧風の瓦形状である“カパラスKS40”に日本の伝統色である銀いぶしの色合いは不思議に似合います。銀いぶしの柔らかで上品な色調は、フランス中部地方の石葺き屋根の色合いにも共通し、気品を与え建物の価値を高めます。シンプルな形状は洋風の建築にとどまらず、和風建築や、現代的な建築で使われる金属やコンクリートなどの建築素材ともよく調和します。

ナチュラルカラー 南欧風の「色ムラ」のある色合いは屋根に表情を与え、自然や周りの風景に溶け込み、温もりのある住まいを演出します。“カパラスKS40”の形状は南欧風なデザインを再現すると共に、引き締まった現代的な意匠を合わせ持っています。



銀いぶし

棟・袖部のデザインバリエーション

7寸丸冠(大棟・隅棟)



剣付冠(大棟・隅棟)



袖部



雪止

立地条件、地域性などにより設置条件が異なります。

同質雪止瓦



雪止金具※



※材質 = SUS304
色種：ステン・ブラック・ブラウン



ランダムホワイト



ランダムレッド



ノルディックブラック



ランダムオーカー



ランダムブラウン



ノルディックブラウン

ESPANICA

防災瓦



エスパニカ

レギュラーカラー



素焼



クリアマット



いぶし銀



マットブラウン

ナチュラルカラー



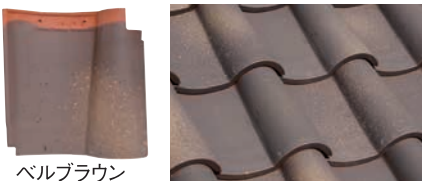
ベルレッド



ベルクレイ



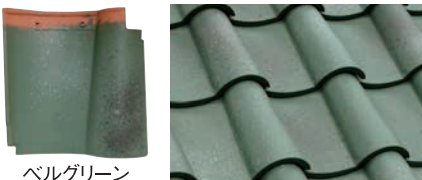
ベルアイボリー



ベルブラウン



ベルアスカ



ベルグリーン

個性的なスペイン瓦の形状を日本の風土や建物に合わせて改良した“エスパニカ”。たおやかな波模様を描く造形に加えて、防災性や断熱などの機能面も充実しています。周囲と調和しつつ、ドラマチックなボリューム感のある欧風スタイルの屋根を色彩も鮮やかに描き出します。

レギュラーカラー

洋瓦100年を支えてきたS形。厳選された基本色は、洋風建築への標準瓦として採用されてきました。

ナチュラルカラー

自然な色ムラを表現できるので、混ぜ葺き不要。明るい色合いから落ち着いた色調まで、様々な年代の方に選んで頂けます。



クリアマット

棟・袖部のデザインバリエーション

7寸丸(大棟・隅棟)



袖部



雪止 立地条件、地域性などにより設置条件が異なります。

同質雪止瓦



雪止金具※



※材質 = SUS430 色種：ステン・黒



マットブラウン



ベルレッド



ベルグリーン

四季折々の景観を楽しむ、気品あふれる〈いぶし〉の和瓦。

和形 [銀いぶし瓦] 防災瓦

わがた [ぎんいぶしがわら]

良質な三河土と、磨き上げられた燻化技法・高温焼成によって、深みある色調と風格を得た“和形[銀いぶし瓦]”。いぶし瓦の清楚な美しさがつくる街並みの景観は、深い味わいと豊かな伝統を感じさせます。流行に左右されず、主張しすぎないトラディショナルなスタイルは、歳月を重ねるごとに経年の美しさや、やわらかな風合いを増しながら多才で変化に富んだ日本の原風景として四季折々、自然の彩りを映し出します。

【銀いぶし瓦】で景観美をデザインする

陽の光を吸収する柔らかな色合いは、現代的な建築素材とも調和し、都市や街並みの景観をデザインするのに不可欠なアイテムです。

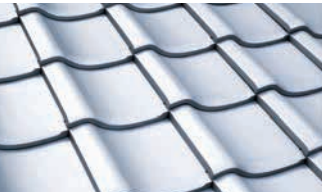
【銀いぶし瓦】で伝統美をデザインする

地方に根付いた様々な屋根の意匠、歴史と温かみを感じさせる素材感、日本の季節の移り変わりと共に美しい表情を描きます。

そぎ
53A [削面]



一般住宅向きのJIS規格品。屋根の表面がやわらかく葺き上がります。



きりおとし
53A [切落面]



一般住宅向きのJIS規格品。陰影がはっきりして、男性的な葺き上がりです。



かた
片2寸(中深) [切落面]



瓦と瓦の重なりが深く、風雨の強い地域で葺かれています。



りょう
両2寸 [切落面]



片2寸よりさらに重なりが深く、風雨の強い地域で葺かれています。



一文字軒瓦



万十軒瓦



一文字軒瓦



紋入り軒瓦/特注色(薄墨)



州浜軒瓦

純和風にもモダンスタイルにも、建物の表情を大きく変える“軒”イメージ。

和形軒瓦

万十軒瓦



中剣京花軒瓦



州浜軒瓦



州浜一文字軒瓦



一文字軒瓦



飛鳥野瓦

あすかのがわら

飛鳥野瓦



段付



段付飛鳥野瓦



段付飛鳥野軒瓦



段無



段無飛鳥野瓦



段無飛鳥野軒瓦



伝統的なフォルムを崩さずに、平瓦と素丸瓦を一体化したため、軽量化、施工の短縮、工費のコストダウンが魅力の“飛鳥野瓦”。さらには引っ掛け棧工法で、急勾配屋根にも安心です。歴史に裏打ちされた伝統の美しさと確かな機能の両立は、これからの堂宮建築の指針ともいえます。新たな日本の風景と歴史を紡ぎ出し、春夏秋冬を装います。

段付飛鳥野

既存の本葺瓦と変わらない表情を持ち重厚な社寺などの建物に合わせられます。

段無飛鳥野

社寺などの建物はもちろん、伝統的ニュアンスを織り交ぜた現代的な建物にも良く合います。



段無



段無



段付



段付

本葺瓦

ほんぶきがわら

本葺瓦



平板瓦



本平瓦



素丸瓦

欧風瓦



和瓦

本平瓦と素丸瓦を組み合わせで葺く、最も古い時代から受け継がれている伝統的スタイルの“本葺瓦”。14世紀もの歳月の中で、日本人の喜怒哀楽を見つめてきた、厳父のような逞しさ。三河土を主原料とし、硬質でメリハリある重厚感や、曲線の美しさで圧倒的な存在感を示しています。それでいて、繊細な四季の彩りの中では、実に慎ましやかにゆったりと息づいています。寺社仏閣・城郭など、日本の伝統建築には無くてはならない後世に残したい瓦です。大きな曲線を描いた葺のダイナミズムもまた、愛すべき日本の原風景となっています。



銀いぶし

敷瓦



銀いぶし



銀いぶし



特注色(古彩)



銀いぶし

平板瓦

欧風瓦

和瓦

敷瓦

瓦を活かした造形から新鮮な感動を発見する。

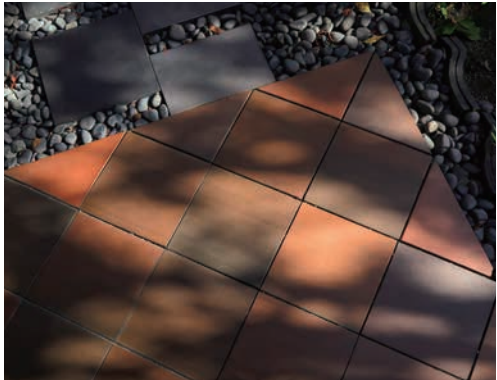
敷瓦

しきがわら

瓦を舗装材として用いる“敷瓦”は、主に寺院や宮殿などで使われてきました。建築の和洋を問わず、釉薬を使わない素材感は足元に親近感を演出し、歳月を経るごとにその味わいを深めていきます。最も古い時代のものが現在も京都の萬福寺に残っており、その寺の路を歩くたびに既視感を感じさせます。土から生まれ、土に還る。やさしさに満ちた表情を持つテラコッタの“敷瓦”は建築の和洋を問わず素材感あふれる空間を演出し、歳月を経るごとに味わいを深めていきます。瓦を屋根から身近な場所に移動することにより、瓦の新たな可能性を探っています。



銀いぶし



窯変

銀いぶし



M-3030 (300×300mm)



M-2020 (200×200mm)



M-1515 (150×150mm)



窯変(受注生産)



M-3030 (300×300mm)



M-2020 (200×200mm)



M-1515 (150×150mm)

※ 窯変瓦は、酸化炎と還元炎の焼き具合のみで色調を出した、赤褐色の色ムラのある瓦です。
窯の中で土と炎が生み出した素材でムラのある色調は古代須恵器の雰囲気を持った芸術品とも言えるでしょう。

敷瓦



銀いぶし

特注・オーダーメイド品も承ります。

栄四郎瓦では、オリジナル形状や既製品にない釉薬を使って仕上げた特注品のご注文なども承っております。お気軽にご相談下さい。



特注品・銀いぶし



特注品



壁面・銀いぶし

[栄四郎瓦]の製品仕様一覧表

働き寸法はロットごとに異なりますので、ご確認願います。

- *① I類は常時生産品、II類は特注生産品です。
II類は納期をお問い合わせ下さい。
*② 働き寸法の公差は外形寸法の公差に準じます。
*③ JIS A 5208による吸水率は12％以下です。
*④ 幅1cm当たりの曲げ破壊荷重(N/cm)を表します。
- *⑤ 横桟木の間隔を表しています。実際の棧瓦の働き長さに2～3mmを足した寸法です。
*⑥ 敷瓦の目地幅を10mmとした場合の働き寸法です。
*⑦ プレイン、LL40、UU40、BB40 銀いぶしの働き寸法は、2～3mm小さくなりますので、ご確認ください。
*⑧ 雪止瓦ならびに雪止金具・支持瓦使用時は、270mmまでが最小です。

品 種	製 品	在庫 ※①	寸 法 (mm)				品 質				必要数		重量		荷姿								
			棧瓦の外形寸法				棧瓦の働き寸法※②		吸水率	曲げ破壊荷重	耐凍害性	防火性	m ² 当たり	坪当たり	1枚	m ² 当たり	1梱包	1パレット					
			全長	全幅	長さ※⑤	幅	(%)※③	(N)	凍害試験	不燃性	(枚数)	(枚数)	(kg)	(kg)	(枚数)	(枚数)							
本葺瓦	本平 8寸 X 9寸	Ⅱ	270 ±4.0	240 ±4.0	—	—	8.0以下	1800N以上	合格	JIS A 5208により 凍害試験は－20℃ 5回繰り返し	法定不燃材 建築基準法 第2条9号 及び 建設省告示 第1400(H12/5/30) により瓦は不燃材 である	—	—	2.6	—	4	360						
	本平 9寸 X 尺		300 ±4.0	270 ±4.0								—	—	3.3	—	4	360						
	本平 尺 X 尺1寸		330 ±4.0	300 ±4.0								—	—	3.8	—	4	360						
飛鳥野瓦	段無飛鳥野瓦	Ⅰ	295 ±4.0	340 ±4.0	237	273						合格	JIS A 5208により 凍害試験は－20℃ 5回繰り返し	法定不燃材 建築基準法 第2条9号 及び 建設省告示 第1400(H12/5/30) により瓦は不燃材 である	16	52	3.5	54	3	174			
	段付飛鳥野瓦		309 ±4.0														3.7	57					
和 形	中深 切落	Ⅰ・Ⅱ	305 ±4.0	305 ±4.0	214	265									18	58	2.8	50	4	432			
	両2寸 切落				190										20	66	2.7	54					
	和形53A 削／切落				237										16	53	2.8	45					
カバラス	KS40	Ⅰ	350 ±4.0	345 ±4.0	293	270～290※⑧									合格	JIS A 5208により 曲げ破壊荷重 1500N以上	法定不燃材 建築基準法 第2条9号 及び 建設省告示 第1400(H12/5/30) により瓦は不燃材 である	12	39	3.7	43	4	396
ローマン	LL40 Hyper-Z※⑦	Ⅰ	350 ±4.0	345 ±4.0	280	306												12	39	3.7	43	4	324
プラウド	Plain	Ⅰ	350 ±4.0	345 ±4.0	280	306												12	39	3.7	43	4	324
	UU40G	Ⅰ	355 ±4.0	345 ±4.0	280	306												12	39	3.7	43	4	324
	BB40 Hyper-X	Ⅰ	350 ±4.0	345 ±4.0	280	306	12	39	3.7	43	4							396					
エスパニカ	S形	Ⅰ・Ⅱ	320 ±4.0	310 ±4.0	262	260	1800N以上	15	49	3.2	49							4	324				
敷 瓦	M-1515	Ⅱ	150 ± 2 x 150 ± 2 x 厚25 ±1.5		160※⑥	160※⑥	180以上※④	45	147	1.0	45							24/カートン					
	M-2020		200 ± 3 x 200 ± 3 x 厚25 ±1.5		210※⑥	210※⑥		25	83	1.7	45	12/カートン											
	M-3030		300 ± 4 x 300 ± 4 x 厚25 ±1.5		310※⑥	310※⑥		11	37	3.9	45	6/カートン											

粘土瓦製品の特性についてのお願い／ご注意

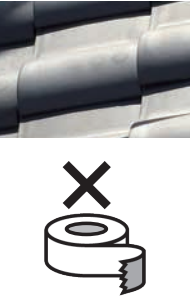
●瓦は粘土を原料とした焼成品です。粘土は採取場所により、その成分・性質は微妙に異なり、均一ではありません。「瓦は天然原料を使った自然素材である」をご理解頂き、その特性を予めご承知ください。
●粘土成分の違いや焼成窯内雰囲気の変化により、微妙な「色ムラ」が発生する場合があります。
●やき物の特有の「ネジレ」や、「寸法」のバラツキがあります。葺き上げ後に瓦と瓦の間にスキマが発生することがあります。
●陶器瓦は貫入（かんにゅう）と呼ばれる表面亀裂が発生する場合がありますが、これは陶器特有の釉薬表面層に発生する亀裂であり、本体生地までの亀裂ではなく品質の劣化を伴うものではありません。
●陶器瓦には釉薬面に「ピンホール」と呼ばれる、小さいへこみや粘土素地の露出が発生している場合があります。これは釉薬の気泡や粘土に含まれる有機物などが燃焼して発生するもので、品質上の問題はありません。



●銀いぶし瓦は経年の変化による「黒ずみ」などの変化が発生する場合がありますが、これは自然素材である銀いぶし瓦特有の現象であり、品質の劣化を伴うものではありません。
●銀いぶし瓦は粘土に含まれる鉄分が瓦表面にある場合、雨水による点状の「赤サビ」などの色変化が発生する場合があります。これは品質的な劣化ではなく、表面層に見られる現象であり、拡大したり、また内部に進行するものではありません。
●施工後、ホコリの付着などによる色合いの変化が発生する場合がありますが、屋根材としての品質・性能および耐久性を損なうものではありません。
●日当たりの悪い場所、湿度の高い場所に施工された瓦には、「コケ」や「カビ」が発生することがあります。これは瓦表面層に発生しているものであり、屋根材としての品質・性能を損なうものではありません。



●銀いぶし瓦の製造過程において瓦素地表面に「円形の跡」が残る場合がありますが、屋根材としての機能を損なうものではありません。
●運搬、施工時に軽微な「スレ疵」「欠け」などが表面に付く場合がありますが、屋根材としての機能を損なうものではありません。
●銀いぶしの表面は、品質特性として「炭素被膜」がコーティングされています。粘着性のものを貼ると被膜が剥がれ、黒い層が露出してしまいますので、養生テープなどをご使用の際はご注意ください。



安全に関するご注意

- 当社製品の使用に際しては、「瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」に基づいて施工してください。
- 粘土瓦の施工には専門の工事が必要です。専門工事業者にご相談ください。
- 寒冷積雪地域・強風地域・多雨地域では、特殊な工事が必要とする場合があります。こうした地域で粘土瓦を使う場合は、専門工事業者にご相談ください。
- 粘土瓦を使った屋根は、関連する工事標準仕様書に基づいて設計してください。特殊な工事を行う場合は、専門工事業者にご相談ください。
- われ物につき、運搬・解梱・積み上げにご注意ください。

【標準屋根勾配とその流れ長さ】					
標準屋根勾配	4.0／10	4.5／10	5.0／10	5.5／10	6.0／10
その流れ長さ	8m	10m	12m	15m	17m

注1: これは瓦を安心してお使い頂くための標準値です。
注2: 屋根勾配が4／10未満の時は、専門工事業者にご相談ください。